

(1)テーマ： 意味付けをつかってたくさん覚えよう！

(2)ねらい： まとまりを作り、意味付けすることによって記憶することができる

(3)展開の視点： 導入と、チャンキング説明後に実験を行うことで、まとまりを作って覚えることが良いことを、身をもって実感できるようにする。また、歴史の語呂合わせなど、生徒にとって身近な例を用いることで、学習内容を実生活でも使いやすいようにする。

(3)展開

時間	○学習内容 ・予想される生徒の反応	◎支援 ・留意点など
導入	○数字列で記憶量の実験を行う。 ・覚えられた ・難しい… ・7ケタが限界 ・ひたすら繰り返して覚えた ・12桁を4桁ずつ区切って覚えた	◎記憶（チャンキング・精緻化）の実験であることを言わずに、実験を始める。 ◎紙に数字12桁を書いたものを貼る。 ・チャンキングしにくいように、数字を離して書いておく。 ◎20秒後に紙を隠し、覚えた数字を紙に書いてもらう。 ◎たくさん覚えた人に覚え方を聞く。
展開①	○チャンキングの説明を聞く。 ・当たり前じゃない？ ・意外に記憶できる量って少ないんだ… ・面白い	◎4桁に区切って書いたものを貼る。 ◎人間の脳には一度に記憶できる量に限界があること（マジカルナンバー7）、4桁を1まとまりにして覚えることによって、たくさん覚えられることを説明する。 ◎チャンキングを勉強に活用できるように例を出す (例)加法定理の覚え方 $\sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta$ →「シンコスコスシン」とひとまとまりで覚える。
展開②	○符号化リハーサル（精緻化）の説明を聞く。 ・なるほど ・さっきの数字、ぜんぶ意味があったんだ ・語呂合わせはよくやる ○英文字列でチャンキング実験を行う。 ・さっきよりも覚えやすい	◎生徒の記憶に残りやすいよう、精緻化は〈イメージ化〉という言葉を使って説明する。 ◎数字列に意味をもたせることによって、記憶しやすくなることを説明する。 (例) 7856→しちごじゅうろく ◎歴史の語呂合わせなど、例を出しながら説明する ◎紙にアルファベット12文字が書かれた紙を貼り、導入と同じ手順で実験を行う。

	・この単語知ってる！ ・知らない単語は覚えにくい…	・知らない生徒が多い単語は、説明を加える。 (例)WHO…世界保健機関
まとめ	○教師の話を聞く ・これから使ってみよう	◎「まとまりを作って覚える」ことと、「意味付けする」ことが大切だと強調する。 ◎日頃の学習、受験勉強でも使えるという話をする。

教具

7 9 6 3 2 1 0 6 8 8 2 3

しちくろくじゅうさん つとむ はやぶさ
 7 9 6 3 2106 8823

NBAJPGWHOCATABS

マジカルナンバー 7

チャンキング

イメージ化

い い く に
 1 1 9 2 つくろう 鎌倉幕府